

120歳通信 2014年11月号

(617分の26号) 14.11.30

発行元 444-0124 愛知県額田郡幸田町深溝上池田36

G & G 吉見典生

0564-62-8144 Fax0564-62-9696

E-mail papi@tms21.jp papi-pero@i.softbank.jp

URL <http://www.waraiyoga.pw> <http://www.tms21.jp>

広島のパピ・カズズ氏に会って! アマゾンなすこ山口



先日、オーストラリアの「笑い男(ラフターガイ)」と呼ばれているマーブ・ニール氏から、笑いで病気を治した彼の稀有な経験や優れた「笑いの講座」を指導して頂きたく、日本への招へいをお願いしたのですが.....残念ながら、突然奥様の病気が悪化し手術のため来日が不可能になってしまいました。やむなく私で代役を務まるわけではないのですが、彼の代わりに少しでも穴埋めできればと、沖縄・広島・仙台を訪問させていただきました。

「災い転じて福」という諺がありますが、私にとってこの「笑い巡礼」は多くの人々に出会い、土着の文化や歴史に触れる貴重な機会になりました。特に沖縄では、さまざまな故事や独特な島の伝統があり、うちな~人は皆優しく深い想いを醸し出す雰囲気を持っていました。そして沖縄は笑いの神様がおわします祈りの島でした。(4ページに続く)

(1)

今でも今帰仁の夜明けの太陽にむかって祈りをささげた美しい唄が聞こえてきます。私達は沖縄の皆さんからそれはそれは最大級の素晴らしいお・も・て・な・しを受けたのです。

今日は広島での思い出を書かせてもらいます。沖縄空港で皆さんとお別れして広島空港に到着すると、のみまりこさんが出迎えてくれました。そして世界遺産である厳島神社で「平和の奉納ラフター！」インドで一緒だったグラちゃんやミカンちゃん、育ちゃん達と合流して近くのレストランで広島B級グルメを満喫。ササガ広島の蠣は〜〜ふ〜ん最高。翌朝早起きして、平和公園でモーニングラフター！大勢の観光客の行き交う中でのラフターは人目を引くようです。中には外国人も通りかかります。”Why don't you join us? (ご一緒にいかが?)”と声をかけると、カナダ人のニコラさんが”OK”と笑顔で仲間入りしてくれました?!

実は私の広島平和公園のお目当ての一つに、”お目にかかりたい人”がいたのです。その人とは??? ラフターヨガ(笑いヨガ)をやっている人は必ず知っています。そう! 平和活動家のジャーナリストであり、難病の自己免疫疾患(膠原病)を笑いで治癒した「笑いと治癒力」の著者ノーマン・カズズ氏です。勿論彼は1990年11月30日に亡くなっていますが、1947年広島を訪れた彼は「原爆乙女」25人をアメリカでケロイドの治療を施すなど多くの平和活動を行い1990年広島市特別平和市民の称号を受け、この広島平和公園に2003年、彼の記念碑が建てられたと聞いていましたので、是非その像にお目にかかりたかったのです。ありました! 小雨の降る中、広い公園を歩き回ってまりこさんが見つけてくれました。ラフターヨガ(笑いヨガ)の創始者であるDr. マダン・カタリアが最も影響を受け尊敬してやまない人の一人がノーマン・カズズ氏です。その像は雨に洗われて穏やかな目で私達を見ていました。

「積極的な情緒は積極的な化学反応を引き起こすのではないか。愛や希望や信仰、信頼や笑い、生きようとする生への意欲が治療的価値を持ちうるのではないか(笑いと治癒力)」と考え、10分の笑いで2時間痛みの無い眠りが出来、笑いが彼の身体に好影響を及ぼしている事を彼は世界で初めて医学的に証明したのです。

今回私がオーストラリアから招きたかったマーブ・ニールも、全身免疫不全の難病にかかり、医師から1週間の余命を宣告されたビジネスマンでした。そして彼が残された1週間でした事は1日8時間唯々笑う事だけでした。その結果2か月後には彼の免疫機能は回復し7か月後は完全に仕事に復帰出来たのです。

2008年私はマーブに出会い、彼から笑う事の凄さを教えられ、私も彼と一緒に笑いました。必ず笑いが私を救ってくれると信じて...。そして私もその笑いの洗礼を受けたのです。体内に巣食っていた私の癌は全て消滅しました。奇跡が私の身に起こったのです。Something Greatに出会ったのです!!!

又ノーマン・カズズはアフリカのノーベル平和賞受賞者シュバイツァー博士とも親交があり、「どの人にも自分の中に自分自身の医者がある。」というシュバイツァー博士のブラシーボ(自分の中にいる医者)に共鳴し、笑いの療法で自分の身体の中の医者を上手く働かす事が出来たのです。

私はカズズ氏の銅像の前に立ち、私自身の身に起こったことを思い、「笑いの療法」はある種のブラシーボの効果であった事を確認しました。「人間の内部にある再生力、回復力こそ人間の独自性の中心である」事に気づき、これからも「笑いの力」を信じて頑張っていこうと思います。

11月8,9日 **笑いヨガ全国大会 in 鹿児島**



(4)

南南東へ進め 西安からブリスベンまでー 吉見典生著 1728円(税込み)



「ひと筆書き世界一周の旅」というからには、前回の旅の終了した地点から、次の旅が始まるのである。前回の『中国の辺疆に行く』では西安からスタートしてチベット地域やタクラマカン砂漠を巡り再び西安に帰り、旅を終了した。この『南南東へ進め』は西安からスタートして、ベトナムへ入り、ラオス・カンボジア・ミャンマー・マレーシア・シンガポールをめぐりフェリーでインドネシアに渡り、インドネシアの島々を渡り、遂にオーストラリアのダーウィンに着いた。そこからバスでラオスの母子ブリスベンまで行ってこの旅を終了した。次回はブリスベンから始まり、オーストラリアを巡り、再びインドネシアの島々を渡りユーラシア大陸へ入る。その後はアフリカ大陸、ヨーロッパ、ロシア、アラスカ、北米、南米へと続き、最後はアルゼンチンから南極大陸へ渡り、80歳までの10年間で、この旅を終えるつもりである。この本は「ひと筆書き世界一周の旅」の全20巻のうちの第2巻である。



ラオスの母子

冒頭から、中国人胡馨予の論文「中国のGDPは果たして世界第二位なのか」を掲載した。胡馨予は著者の友人である。この旅行は西安から出発したわけであるが、著者は西安で胡馨予に会い、彼女から中国発表のGDPがいかにか嘘で丸められているかを聞いた。帰国したらそのことについての論文を送ってくることを約して西安を発った。ミャンマーの航空会社の職員



ISBN978-4-86431-342-1
C0026 ¥1600E
定価 本体 1600円 +税
9784864313421
1920026016009



ミャンマーの婦人

中国内の旅行では、胡の論文を裏付けるような出来事に二、三遭遇した。

ベトナムの世界遺産ホイアンでは江戸時代の日本人谷弥次郎兵衛の墓にお参りした。

ラオスやカンボジアはインフラが極端に遅れているが、人々の温かさを感じた。特にカンボジアでは、ポル・ポト政権時代の大量虐殺の跡地を見学し、その残酷性のすさまじさは裏腹に、人々の特別な優しさを感じた。

タイ・ミャンマーの陸路による国境のゲートは開かれたばかりの時に通過した。山の中にある国境の印はたった一本の棒であった。マレーシアのマラッカでは幾多の歴史上の人物がここを通過した世界の十字路口であることを感じた。シンガポールやインドネシアでは困ったときには必ず美女が現れ助けてくれたのである。(2)



インドネシアの女学生



MASAMI さんの彫像 バリ島にて

インドネシアの島々をフェリーで渡り、島をバスで移動することほど楽しいことはこれまで体験したことがなかった。オーストラリアのダーウィンからブリスベンまでバスで行った。窓外の風景はサバンナばかりで変化に乏しいが、バスの中で知り合った友人と笑いヨガなどして楽しんだ。



インドネシア・フローレス島の少女



オーストラリア・テナントクリークのアボリジニの少年

(写真はかならずしもすべてが『南南東に進め』に載っているとは限りません。)

聴衆ゼロでも講演やるの～？



井上真理子は来年1月より税理士法人TMSの代表になることが決まっている。これからはTMSを背負って行かねばならない。そこで現代表吉見は、月一回事務所で対外向けの講演会を開き井上に講師を担当するように指令した。そこで井上は「女性のためのライフプラン勉強会」と銘打って11月29日「相続税の改正」について講演会を開催すべく計画した。11月27日吉見は井上に聞いた。「お客さんは何人お見えか?」「今のところゼロです」「ゼロでもやりなさい」「ええ～!聴衆ゼロでも講演やるの～?」

大急ぎで他の従業員にお願いしてお客さんを一人勧誘することに成功した。11月29日写真のように講演会を開いた。講演の内容はとてもよかった。よくやると井上を称賛した。これからは、全社一丸となって客集めで頑張るよう月曜日のミーティングで言うつもりだ。お客さんに来ていただくことが経営上一番大切であることを肝に銘じてもらいたい。

(3)